

令和6年度 新潟県立駒林特別支援学校 学校評価のまとめ

1 各学部の成果と来年度に向けて

(1) 小学部

体育と音楽で、学部全体の児童について課題や興味・関心に応じた2つのグループ編成を行いました。それぞれのグループで児童に合わせた課題にじっくり取り組むことができ、成果を上げることができました。体育のサーキット運動では、体育館での学習環境を整えるために2つのグループでなく全体で行うなど、職員で検討しながら柔軟に取り組んでいます。

遊びの指導や生活単元学習等で、今まで以上に繰り返しの学習を重視したところ、児童が見通しをもって落ち着いて学習に取り組むことができました。

高学年(5・6年生)の学級で、6年生の修学旅行を実施しました。事前学習を5年生と分かれて行う場面が多くありましたが、授業場所や職員の配置などを工夫して実施しました。

(来年度に向けて)

低学年の人数が多くなるので、入門期にスムーズに学校生活に慣れるよう学部全体で支援します。

現行の年間学習指導計画に、キャリア教育に関わる取組等今年度の実績を加え、さらに充実させます。

体育と音楽の2グループ編成での授業では、グループ編成や評価の仕方の工夫等についてより良い方法を探っていきます。

(2) 中学部

日常生活の中でできることを増やすために、体験活動を多く取り入れたり役割を果たす機会を意図的に設定したりしました。課題学習や自立活動の時間において、日常生活に必要なスキルや人との関わりに関する学習を設定し取り組むことで、個々のペースで出来ることが広がってきました。そして、身に付けた力を校外学習などで発揮することができました。達成感が感じられる活動を工夫し取り組むことで、働く力につなげました。

音楽では、学期毎に発表会を行いました。それに向けて練習を重ね、緊張しながらも聴いてくれた人から拍手をもらうことで生徒たちに笑顔が見られました。

しごと学習では、生徒の実態に合わせて仕事内容を選定し、少ない支援で取り組むことができるように活動内容を工夫しました。個の実態によって取り組める時間は違う場合もありますが、それぞれが決められた時間と内容に一生懸命取り組む姿が見られました。

来年度は、より達成感が感じられるように、いろいろな場面で、個に合った具体的な目標を設定し、目標に向かって取り組む活動や場面を工夫していきたいと思えます。

教室に付けたカーテンや衝立を利用しながら個に対応するために教室の環境を考えました。友達と一緒に頑張る場面と個々に集中できる環境・場所をつくることで、気持ちを落ち着かせて楽しむことができるようになってきました。来年度も生徒達がより安心して学べる教室環境を考え工夫していきたいと思えます。

(3) 高等部

学校生活全般を通して、将来の生活への意識を高める働き掛けをしました。

職業生活や校内・職場実習、総合的な探究の時間で、学習内容の見直しと一人ひとりに合わせた支援の工夫をしたり、自分の姿を振り返り、将来に向けて次の課題を考えて発表する場面の設定をしたりしました。働く意欲や卒業後の生活への意識が高まり、目標に向けて頑張る姿が見られました。

課題学習や職業生活、音楽、美術、保健体育（学習内容による）では、グループ別学習をしたことで、他学年の生徒と一緒に学んだり、授業のねらいをより明確に学習できたりしました。

SNS等情報モラルやコミュニケーション、保健・安全に関する学習は、学校職員の授業だけでなく、出前授業として青少年サポートセンター、ゲートキーパー協会、阿賀野市役所の方を講師としてお招きし、学ぶことができました。これらの取組は来年度も継続する予定です。

修学旅行、宿泊学習、校外学習、施設見学では、余暇や進路につながる施設を見学したり、友達と関わりながら楽しい思い出を作ったりすることができました。

来年度に向けて、職業生活や校内実習の学習内容の見直しを行い、一人ひとりが将来に向けた力を付けることができるように、作業内容や支援方法の工夫をしていきます。

今後も高等部職員全体で共通理解を図り、生徒たちの思いを大切にしながら指導・支援をしていきます。

2 保護者アンケートより

ほとんどの項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な評価が90%以上か、それに近い数値となっています。多くの保護者の方から、当校の教育活動を高く評価していただいている結果ととらえています。

しかし、質問①の「お子さんは、学校へ楽しんで通学している」の項目については「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」が合わせて15%と高く、児童生徒が楽しんで通学できる魅力ある学校づくりに取り組んでいかなければなりません。

そのためには安心して学べる環境づくりに力を注いでいきます。安心とは、「心の安全」ととらえ、子どもたちが互いを尊重し、自分らしくいられることと考えます。いじめの早期発見・早期対応はもとより、子どもたちの心に寄り添った支援を引き続き行っていきます。職員の対応力の向上、教育相談の質を高めていきます。「学校は楽しい」と言ってくれる子どもたちが100%になるように日々、研鑽していきます。

その他、質問③、⑤、⑥、⑧は少ない数字ではありますが「分からない」という回答がありました。「分からない」という回答に私達は課題意識をもち、取り組んでいることをしっかりと伝えられるよう、「発信力」を高めていきたいと考えています。

お寄せいただいたご意見やアンケートの結果を真摯に受け止め、今後も保護者の皆様のご意見、ご要望に耳を傾けていきます。また、保護者の皆様と連携しながら、学校の取組を分かりやすく伝える工夫をし、透明性の高い学校運営を行い、より良い駒林特別支援学校となるよう来年度も取り組んでいきたいと考えています。

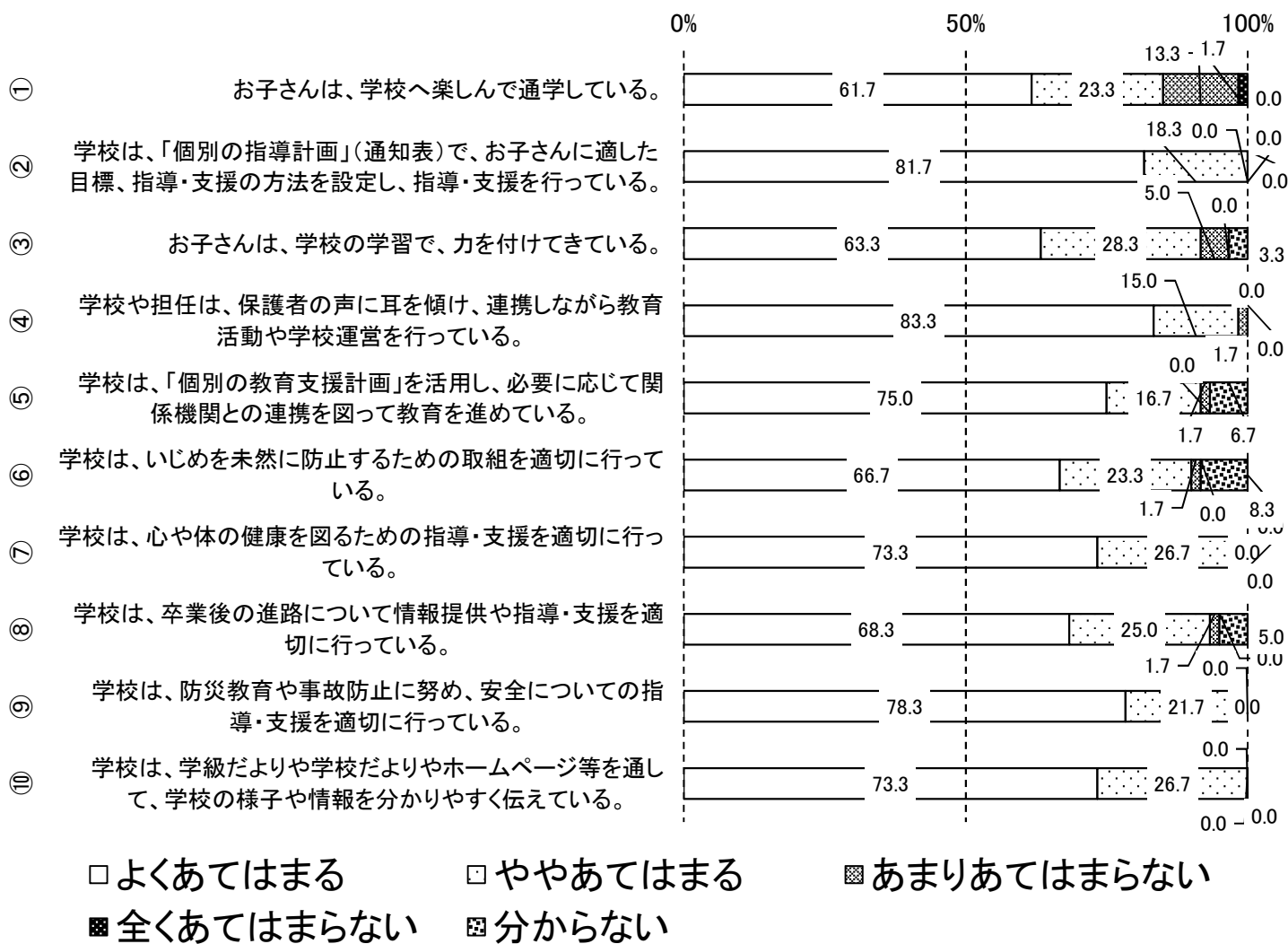
また、記述欄では、お子さんの療育、学習方法、生活リズム等の相談も寄せられました。気になることやご意見がありましたら担任までお知らせください。また、「いつもありがとうございます」「満足しています」等、我々職員にとって大変励みになるご意見も多くいただきました。ありがとうございます。アンケートへのご協力ありがとうございました。

3 児童生徒アンケートより

ほとんどの項目で、○(はい)の肯定的評価が高いものの、質問①「学校は楽しい」の項目が×(いいえ)が 8.5%と他の項目と比べて高いことが分かります。児童生徒が「学校は楽しい」と感じられるよう前述したように魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。

また、記述欄の「学校で、がんばりたいことや、やりたいことなどを書いてください」の項目では、「先生と会話できるように頑張りたい」(小)、「勉強・マラソン・バスケットボールを頑張りたい」(小)、「体育を頑張りたい」(中)、「修学旅行に早く行きたい」(高)「もう少しで卒業なので皆と仲良くしていっぱい思い出を作りたい」(高)等、児童生徒が多く頑張りたいことややりたいことを書いてくれました。これからも児童生徒一人一人の思いや考えを大切にしながら、教育活動に取り組んでいきます。

保護者アンケート結果



児童生徒アンケート結果

